

大阪府理学療法士(協)会 代議員立候補者

定 数 : 26 名

立候補者数 : 30 名



氏名 稲村 一浩

都道府県士会 大阪府

年齢 54

勤務先名称 星ヶ丘医療センター



氏名 熊崎 大輔

都道府県士会 大阪府

年齢 41

勤務先名称 関西医療学園専門学校

協会・士会役員歴

平成29年4月から現在 大阪府理学療法士会 北河内ブロック長
平成29年6月から現在 日本理学療法協会 職能関連業務執行委員会 協力委員

立候補の趣旨

障害者福祉部長・ブロック推進部部長と経験し現在大阪府の変革の中心となるブロック長として大阪府の理学療法士会に関わり、同時に大阪府理学療法士連盟の企画局長と、日本理学療法士協会の職能関連業務執行委員会に関わっています。今こそ理学療法士が市町村単、都道府県単位、日本単位で同じ目標、同じ方向に一致団結すべきと時期であると考え、大阪府理学療法士の代弁者であり、日本理学療法士会の理事の選挙権をもてる代議員の仕事が大きな意味ある仕事として考え立候補させていただきました。

協会・士会役員歴

平成21～22年度 (社)日本理学療法士協会 特定健診・特定保健指導特別委員会委員
平成24年度 (公社)日本理学療法士協会 管理者ネットワーク構築事業準備委員
平成25～26年度 (公社)日本理学療法士協会 組織率向上検討特別委員会 委員
平成27～29年度 (公社)日本理学療法士協会 倫理担当者
平成28年度 (公社)日本理学療法士協会 組織・規則検証等ワーキンググループ委員
平成22～29年度 (公社)日本理学療法士協会 代議員
平成19～20年度 (社)大阪府理学療法士会 組織部 部長
平成21～22年度 (社)大阪府理学療法士会 事務局担当理事
平成23～29年度 (社)大阪府理学療法士会 事務局長
表彰候補者推薦委員会 委員

立候補の趣旨

私はこれまで日本理学療法士協会(以下 協会)の代議員を8年間、各種委員会等の委員を務めさせていただきました。また大阪府理学療法士会(以下 府士会)では理事を9年間務めています。現在、協会の会員数は100,000名を超え、府士会の会員数も7,600名を超えています。全国の理学療法士の平均年齢(2017年3月末)は男性で33.8歳、女性は32.9歳となっており、40歳以下が8割以上という状況です。我々理学療法士また協会が抱える課題として、理学療法士の質の向上、理学療法士の職域拡大、国際活動の強化、組織力の強化などが挙げられています。私はこれらの課題に対して、大阪の意見、そして若い理学療法士の意見を協会に届けるため代議員に立候補致しました。精一杯頑張りますので、何卒よろしく願い致します。



氏名 三原 修

都道府県士会 大阪府

年齢 58

勤務先名称 りんくう永山病院



氏名 米田 浩久

都道府県士会 大阪府

年齢 51

勤務先名称 関西医療大学保健医療学部

協会・士会役員歴

公益社団法人 日本理学療法士協会	代議員	平成19年度～現在
公益社団法人 大阪府理学療法士会	理事	平成17年度～平成28年度
公益社団法人 大阪府理学療法士会	監事	平成年度～現在

協会・士会役員歴

平成16年6月	(社)大阪府理学療法士会泉州ブロック	保健福祉部 副部長
平成19年6月	(社)大阪府理学療法士会泉州ブロック	保健福祉部 部長
平成23年6月	(社)大阪府理学療法士会泉州ブロック	副ブロック長 現在に至る
平成23年6月	(社)大阪府理学療法士会	ブロック局 ブロック推進部 副部長
平成25年6月	(公社)大阪府理学療法士会	ブロック局 ブロック推進部 部長
平成26年12月	第27回大阪府理学療法学会大会準備委員長	
平成27年6月	(公社)大阪府理学療法士会	理事(ブロック局担当理事)
平成29年6月	(公社)大阪府理学療法士会	理事(ブロック局局長) 現在に至る

立候補の趣旨

私は、大阪府理学療法士会において10年間理事の役職を拝命し、会員サービスの向上、学術活動の効率化、府士会組織とブロックのあり方、事業・機能分担、予算編成、地域行政との連携など会員の皆様と議論しブロック組織の確立に取り組んで参りました。また平成28年度より監事として、今までの経験を活かして、違う視点から府士会活動に携わっております。この平成30年には医療介護の同時改定が行われようとしており、協会の今後について具体的かつ建設的な視点での対応が必要になります。

10万人を超える会員を有する団体として、責任を持ち社会に対して実現可能な政策の提言が必要です。協会と都道府県士会が連携を構築し、会員の声が反映できるように、府士会での理事活動で得た経験を活かし、協会と都道府県士会との関係性を整理し連携の強化に努めてまいります。会員が実際の協会活動に理解を示し参加していただけるように活動して参ります。

公益社団法人大阪府理学療法士会の代表として、より一層協会運営に協力させて頂く所存であります。皆様のご支援宜しくお願い申し上げます。

立候補の趣旨

この度、公益社団法人 日本理学療法士協会代議員選挙に立候補させて頂きました、関西医療大学 保健医療学部 臨床理学療法学教室の米田 浩久でございます。日本理学療法士協会を取り巻く環境は大きな変遷を迎えており、なかでも2025年を目途に構築が進められている地域包括ケアシステムへの理学療法士参画を進めるための都道府県士会の機能強化や学習システムの根本的改変や都道府県士会への委任・譲渡の問題など、地方の働きが一層求められる時代となっています。私が所属する公益社団法人 大阪府理学療法士会(以下、大阪府士会という)は、7千有余名の会員数を誇る最大の都道府県士会であり、その規模に応じた役割や発言を協会の中で果たしてきたかという甚だ疑問に感じます。私は、平成16年から約14年間にわたり、大阪府士会の様々な部局の業務を担当させて頂きました。すべての業務は、大阪府士会内のブロックに関する仕事であり、大阪府士会を「中央」とするならば、いわば「地方」に関わる業務を担当させて頂き、大阪府士会を運営していくうえでの「地方」の重要性を勉強させて頂きました。このような経験を通じて、協会においても地方の士会の役割がより重要となる今後において、最大の代議員議席数が割り当てられている大阪府理学療法士会の責務は重要でありますし、何よりも大阪府理学療法士会々員の意志をより一層明確に示すことが必要ではないかと考えております。このような次第から、私は大阪府士会々員の声を是非とも中央へ届けたいと考えております。ご拝読頂き、誠にありがとうございました。



氏名 平木 治朗

都道府県士会 大阪府

年齢 67

勤務先名称 自宅会員



氏名 岩見 大輔

都道府県士会 大阪府

年齢 42

勤務先名称 永山病院

協会・士会役員歴

協会理事 2期4年
代議員 2年(平成16-17年)
府士会理事 8期16年

協会・士会役員歴

平成27年度～28年度 公益社団法人大阪府理学療法士会 新人教育部 部長
平成28年度～現在 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員
平成29年度～現在 公益社団法人大阪府理学療法士会 理事

平成22年度 第22回大阪府理学療法学会 進行係長
平成25年度 第25回大阪府理学療法学会 進行係長
平成26年度 第26回大阪府理学療法学会 企画・企業展示局長
平成27年度 第27回大阪府理学療法学会 会場部長
平成28年度 第28回大阪府理学療法学会 運営局長

立候補の趣旨

毎年10,000人以上の理学療法士を社会に送り出す時代となり、リハビリテーションの知名度が向上してきているなか、理学療法士は一般社会においてもまだまだ低いものである。新しい職域(GoogleやAmazonなど)に就職人数が集まるといわれている。IT文明の進化により、今後も生き残れる仕事、消滅する仕事が出てくると考えられる。世界の企業(会社等)の平均寿命(会社の消滅)は平均30~40年とされている。すなわち、一生涯に1~2度は失業を経験するということである。そこで、必要なのは生涯教育であり、協会の活動においても、理学療法士の将来を考え国会議員の擁立、卒後教育の充実、社会的認識度の確立等々の組織改革を展開している。

今回も、①このような社会情勢と15~20年後の社会変化を考える中で、理学療法士の在り方を考えることへの提言、②理学療法士の社会的処遇(生活保障)への提言、③養成校での教育・臨床実習および卒後教育への提言の3点をするべく立候補しました。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

立候補の趣旨

私は平成29年度より公益社団法人 大阪府理学療法士会(以下、府士会) 事務局担当理事として府士会の運営に携わっております。府士会は昨年度に創立50周年を迎え、すでに次の100周年に向けて走り出しております。現在、組織力強化に向けた新しい体制の構築について、職能局・事務局、生涯学習センターワーキングチームが活発に動いております。これからも我々府士会が地域社会の期待に応えられる職能団体になるよう尽力いたします。

また、府士会の会員数は7500名を超えて東京都に次いで2番目に大きな組織となりました。毎年700名程度の新入会の会員を迎え、事務局として会員の皆様と日本理学療法士協会の橋渡しの一役を担うべく代議員に立候補いたします。会員の皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。



氏名 柳澤 博志

都道府県士会 大阪府

年齢 44

勤務先名称 りんくう永山病院

協会・士会役員歴

平成23年～28年度 大阪府理学療法士会広報部 部長
平成29年度より 大阪府理学療法士会広報部 部員
平成25年度より 大阪府理学療法士会学校保健活動特別委員会 委員
平成26年～29年度 代議員

立候補の趣旨

これからの理学療法士が進む方向を日本理学療法士協会がどのように進めているかを把握し、府士会活動に活かしたいと考えております。また、地域包括支援システムが機能することから市町村レベル、職場地域での理学療法士の活動が必要となります。しかし協会が行っている活動を理解している地域の理学療法士は少ないと感じております。さらに新人理学療法士には協会の活動やこれからの理学療法士が進む方向を分かり易く説明していただくことが必要であります。そのために自身が吸収した情報や経験を地域の理学療法士と共有し、さらには地域の要望を日本理学療法士協会にとどけたいと考えております。
若輩者ではございますがぜひとも皆さまのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



氏名 長倉 裕二

都道府県士会 大阪府

年齢 55

勤務先名称 大阪人間科学大学

協会・士会役員歴

日本支援工学理学療法学会 幹事

立候補の趣旨

2018年第7回日本支援工学学術大会大会長を仰せつかり、大阪にて学術大会を開催する予定でございます。
今後もより一層、日本理学療法士協会の運営に尽力して参る所存でございます。



氏名 橋本 雅至

都道府県士会 大阪府

年齢 51

勤務先名称 大阪河崎リハビリテーション大学

協会・士会役員歴

平成 9 年	大阪府理学療法士会	生涯学習部・部員 (～平成 13 年)
平成 13 年	大阪府理学療法士会	生涯学習部・副部長 (～平成 17 年)
平成 19 年	大阪府理学療法士会	生涯学習部・部長 (～平成 21 年)
平成 21 年	大阪府理学療法士会	社会局 理事 (～平成 23 年)
平成 22 年	日本理学療法士協会	代議員 (現在に至る)

立候補の趣旨

昭和 63 年に理学療法士となり、臨床現場、教育現場に所属して 30 年が経過します。その間、大阪府理学療法士会の生涯学習部として約 10 年間の活動の機会を得ました。日本理学療法士協会の重要な役割である公益性を高め、社会における理学療法士の立場を高めることと、協会を支える会員が医療従事者として技術、知識の向上から社会に活躍することが大変重要であると考えます。その立場を踏まえ、理学療法士の研修会、講習会を企画し、生涯学習プログラムの遂行に関わり、自己研鑽に励む多くの理学療法士と出会うことができました。さらに養成校にて夢と希望を抱き理学療法士への道を志す若者と多く関わりを持ち、卒前教育の重要性を深く認識しております。それらの経験から色々とした意見や考えを踏まえると、理学療法士のレベルアップのため、また職域拡大のため考えるべき課題が多くあるように感じます。経験年数は少ないが、意欲が高い理学療法士がきちんと知識、技術を身につけ、対象者の満足を得ることができることは、理学療法士全体の責務であります。

このように卒後教育だけではなく、卒前教育である教育機関にかかわる身として、私には将来に希望を持った理学療法士を多く育成し、卒後教育へとつなげ、その大切な時期には多くの会員や学生達の意見や考えを代弁する責任があると考え、今回代議員への立候補をいたします。



氏名 逢坂 伸子

都道府県士会 大阪府

年齢 50

勤務先名称 大東市役所

協会・士会役員歴

平成 23 年 6 月～平成 25 年 5 月
公益社団法人日本理学療法士協会理事

立候補の趣旨

今回の医療・介護の同時改定では自立支援がキーワードとなっており、改定の随所に理学療法士への大きな期待が感じられます。介護保険の理念である「自立支援」の実現には我々理学療法士が持つ身体機能評価能力を基本とした生活機能評価が欠かせません。また、これらの評価で得られた情報により行う自立支援マネジメントこそがこれからの理学療法士に求められる能力だと考えています。今、市町村の介護予防事業や地域ケア会議に多くの理学療法士が関わっています。5 年前に比べると市町村事業に関する理学療法士は飛躍的に増えています。これは、理学療法士の全国組織力の賜物であることは誰もが認めることだと思います。今はまだ動きが鈍い市町村も動き出すと加速度的に理学療法士への依頼が増えることが予測されます。その依頼に応えるとともに期待される効果を発揮するためには、理学療法士の質と量の担保が必要です。地域リハビリテーション活動支援事業が導入されたことで、我々理学療法士が市町村事業で活躍する舞台は既に出来上がっています。後はその舞台の上でどのように理学療法士の専門性を発揮するのか。しかも、より効率的で効果的な手法で。団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年は地域包括ケアの入り口でしか過ぎず、その先は少子化による労働人口減少など人口構造の変化とともにより大きな問題となる中、その時代においても持続できるシステムが必要です。それには、まず、現役理学療法士の意識改革が必要だと考えています。この意識改革こそが将来の理学療法士のあり方がかかっています。我々、理学療法士の方向性を決める大きな舵を協会がどのように切っていくのかを代議員として監督することが必要です。私は、長年、市町村行政で理学療法士として働いてきました。その経験を生かして、地域包括ケアにおける理学療法士の質と量の担保に向けて、多方面からの協力をしたいと思っています。そのひとつとしてみなさまの代表である代議員として協会の動向をしっかり監督したいと思っております。是非、その機会を私に与えて下さい。よろしく申し上げます。



氏名 山川 智之

都道府県士会 大阪府

年齢 55

勤務先名称 南大阪病院



氏名 松木 明好

都道府県士会 大阪府

年齢 37

勤務先名称 四條畷学園大学リハビリテーション学部

協会・士会役員歴

平成11年～14年度 (社)大阪府理学療法士会 理事(事務局・社会局担当)

平成19年～20年度 (社)大阪府理学療法士会 理事(ブロック局担当)

平成21年～26年度 (公社)大阪府理学療法士会 社会局長・理事

平成27年度～現在に至る (公社)大阪府理学療法士会 会長

平成21年度～現在に至る (公社)日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

私は、およそ30年間大阪府理学療法士会の活動に参加させていただきました。その中で、事務管理の行う事務局担当事業や対外的な事業に主眼をおいた社会局長を経て、現在会長の任をお受けしております。こういう活動を通して理学療法士と社会という観点から多くのことを学んだと日々感じております。

理学療法士の分野は今でも社会の中で必要な職種ではありますが、過去には一般感覚とのずれを感じることも多くありました。我々にとって大切な臨床家の価値観だけではなく、行政・他団体との関係づくり、政治的な活動や業務を行う上でのマネジメントなど社会的な対応が求められている業界であります。

特に、地域包括ケアシステムは日本理学療法士協会としても大きな課題となっており、大阪府士会も組織をあげての対応を行っております。それゆえに、今まで以上に日本理学療法士協会には、理学療法士業界の羅針盤として活躍していただくなくてはなりません。診療報酬改定の対策や理学療法士の地位向上に努めるとともに、10万人を超える会員数を誇る協会の役割がより大きくなっていることは言うまでもありません。この協会へ大阪府士会の方々を思いを伝える大阪府士会選出の代議員の役割もまたより重要となっております。

そこでこの度、私はさまざまな経験を生かして理学療法士の発展に寄与すべく、協会代議員選挙に立候補いたしました。何卒、多くの皆様方のご支援を賜りますようお願いいたします。

協会・士会役員歴

2014年～2018年 日本理学療法士協会 代議員(大阪) (2期4年間)

2005年～2010年 大阪府理学療法士会 事務局総務部 部員

2011年～2012年 大阪府理学療法士会 事務局総務部 副部長

2013年～2017年 大阪府理学療法士会 事務局総務部 部長

立候補の趣旨

日本理学療法士協会は10万人を超える理学療法士会員を要する日本有数の医療系職能団体であり、社会ニーズに対しそのインパクトは年々増加しています。

他方、多人数を擁する巨大組織はその意思決定プロセスが不透明になり易く、一会員の声反映されにくくなります。

私は大阪の代議員として、そのプロセスをしっかりと監視し、大阪の会員の総意を協会に届けて意思決定に寄与したいと考えております。

ご支持のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 田中 錦三

都道府県士会 大阪府

年齢 58

勤務先名称 清恵会第二医療専門学院

協会・士会役員歴

平成 5～12年度	(社)大阪府理学療法士会	福利厚生部 部長
平成 13～24年度	(社)大阪府理学療法士会	堺市ブロック ブロック長
平成 22～29年度	(公社)日本理学療法士協会	代議員
平成 25～28年度	(公社)大阪府理学療法士会	理事
平成 27年度～	(公社)大阪府理学療法士会	学校保健活動特別委員会 委員長
平成 29年度～	(公社)大阪府理学療法士会	監事

立候補の趣旨

前回の診療報酬改定では回復期病棟におけるアウトカム評価が導入され、理学療法実施時間に対する評価ではなく、改善度に対する評価が重要視されました。今後はますます理学療法の質が問われることになるでしょう。また地域リハでは、地域包括ケアシステム構築に向けて、地域医療体制の見直しや他職種との連携強化、地域行政との関係づくりや連携が重要となるため、地域ごとの対策が不可欠となり、都道府県士会に求められるものは大きくなっています。このように医療環境が大きく変化している中だからこそ、理学療法士に対する社会の期待に応えることが、我々の職種としての価値を高めることとなります。そのためには、全会員と都道府県士会、日本理学療法士協会が丸となって取り組むべき課題が山積みだと思っています。また、社会ニーズに対応できる理学療法士を育成する卒前・卒後教育も重要で、ここでは日本理学療法士協会が主となって厚労省への働きかけや、卒後教育システムの構築を図っていただかなければなりません。これらの課題を念頭に置いて、これまでの日本理学療法士協会 代議員や大阪府理学療法士会 理事・監事の経験を活かして、会員の声を協会に伝える所存です。何卒、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



氏名 鈴木 俊明

都道府県士会 大阪府

年齢 55

勤務先名称 関西医療大学保健医療学部

協会・士会役員歴

平成 11年4月～平成 16年3月	(社)日本理学療法士協会	調査部部長
平成 25年12月～現在	日本理学療法士協会	日本基礎理学療法学会 運営幹事
平成 27年～現在	(公社)日本理学療法士協会	代議員
平成 12年4月～平成 23年5月	大阪府理学療法士協会	泉州ブロック ブロック長
平成 25年8月～平成 29年6月	大阪府理学療法士協会	泉州ブロック ブロック長
平成 29年6月～現在	大阪府理学療法士会	理事
平成 29年6月～現在	大阪府理学療法士会	副会長

立候補の趣旨

平成27年度から、(公社)日本理学療法士協会 代議員として活動してまいりました。この度、2期目の代議員として立候補させていただきます。私は現在、(公社)大阪府理学療法士会 副会長として理学療法士の職域拡大および府士会会員のスキルアップに努めております。今後、多くの若い理学療法士が誕生していくなかで、府士会の課題や理学療法士としての思いを全国にお伝えしていきたいと思っております。よろしくご支援申し上げます。



氏名 森 憲一

都道府県士会 大阪府

年齢 41

勤務先名称 大阪回生病院

協会・士会役員歴

大阪府理学療法士会 生涯学習部 副部長（2011年～2015年）
大阪府理学療法士会 生涯学習部 部長（2015年～現在）
日本理学療法士協会 代議員（2016年～現在）

立候補の趣旨

この度、代議員選挙に立候補致します 大阪回生病院の森憲一と申します。
私はこれまでの7年間、大阪府理学療法士会 学術局 生涯学習部の仕事に従事致しました。日本理学療法士協会と連携し、新人教育プログラムの修了後も継続した学習ができる環境を整え、大阪府における理学療法士の質が向上できるよう取り組んでまいりました。経験年数の若い方からベテランの方まで幅広い年代の会員が興味を持って学べるよう研修内容を厳選してきました。生涯学習部が主催する研修会では、2017年度 合計8回、述べ700名を超える会員の方々に受講していただくことができました。
2017年12月現在 大阪府における総数は、認定理学療法士数316名（全国2位）
専門理学療法士数136名（全国6位）と多くの認定・専門理学療法士が誕生しました。
また受講と同時に、呼吸療法認定士・心臓リハビリテーション指導士・糖尿病療養指導士の受験・更新に必要な単位も取得できる研修会を継続して開催しました。様々な資格を合わせて取得でき、多様なキャリアデザインが可能な研修会を運営しました。
自己研鑽のみで終わることなく、身に着けた知識と技術が理学療法士の職域拡大につながるよう『ウィメンズヘルス』『摂食・嚥下』といった新しい分野も試みました。
これらの活動を通じ 協会からの情報収集と、大阪府から協会へ意見を述べる必要性を痛感致しました。我々理学療法士が生涯学習を通じて成長し、継続して利用者に貢献でき、我々自身も生き残れる取り組みを行いたいと考え、立候補を決意しました。大阪府理学療法士会員の声を協会へ反映したいと考えます。何卒宜しくお願い申し上げます。



氏名 千葉 一雄

都道府県士会 大阪府

年齢 62

勤務先名称 大阪医療福祉専門学校

協会・士会役員歴

公社) 日本理学療法士協会 代議員6年間、診療報酬部員
公社) 大阪府理学療法士会 理事7年間、平成27年～現在 学術局長
・組織検討委員会 ・臨床実習倫理要綱策定委員会
・50周年記念行事委員会などの 委員
ブロック推進部 部長・医療介護保険部 部長（総計12年間）

立候補の趣旨

この度代議員立候補の趣旨（議決権ならびに質問事項を以下に列挙）
・組織率の対策問題の見直し要求を行う
・無駄な経費削減の監視と夫婦会員の会費減額を要求する
・女性活躍が進んでいない問題の精査



氏名 村西 壽祥

都道府県士会 大阪府

年齢 44

勤務先名称 大阪河崎リハビリテーション大学

協会・士会役員歴

【協会役員歴】
平成22年度～ 日本理学療法士協会 代議員

【士会役員歴】
平成21～22年度 大阪府理学療法士会 理事（保健福祉局）
平成25年度～ 大阪府理学療法士会 理事（ブロック局）

立候補の趣旨

日本理学療法士協会の会員数が10万人を超え、若い会員の方の割合が多くなっています。その若い会員によって、医療・保健・福祉や日本理学療法士協会は支えられています。しかし、会費負担が大きいことや協会に入るメリットがないという声を聞く機会が増え、組織率の低下を危惧しています。厳しい社会情勢において、会費負担を軽減できるよう、協会員である価値を高めるよう、適切な運営に努めなければならないと考えます。今回も引き続き、代議員に立候補させていただき、会費負担の軽減と会員であることの価値を高めるよう、協会に働きかけて参ります。皆様のご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 米元 佑太

都道府県士会 大阪府

年齢 29

勤務先名称 東大阪山路病院

協会・士会役員歴

2014年4月～ 大阪府理学療法士会中河内ブロック学術部

立候補の趣旨

はじめまして。米元佑太（よねもとゆうた）と申します。

「代議員の活動を通じて大阪府理学療法士会の会員の皆さまの役に立ちたい」
「日本理学療法士協会の情報により身近に触れ、その情報を会員の皆さまと共有したい」
これが私の代議員選挙に立候補した理由です。

私は20代前半からブロック活動を通じて大阪府士会の運営に関わってきました。この経験の中で府士会運営に関わる皆さまの活躍に感化され、私もより一層府士会に貢献できる立場となり、運営に関わりたいと考えました。

大阪府士会の会員数は東京都士会と1、2を争う規模の大きな都道府県士会です。これは現在までの府士会理事・役員の活動成果を反映しているものであるといえます。一方、これは府士会と会員との双方向的な意見交換が容易ではないことも意味します。総会での確に意思決定するためには、皆さまの意見を広く聴取する必要があります。私はSNSなどを積極的に利用することで、幅広い意見の聴取と情報の発信を行います。

そして、広く募った府士会員の総意を持ち、日本理学療法士協会の総会に参加します。

協会と府士会員の皆さまとを繋ぐ窓口の役割を積極的に担う人間が必要です。その役目を担う代議員の一人として、私を選んでいただけないでしょうか。投票を、どうかよろしくお願い致します。



氏名 岩間 誠司

都道府県士会 大阪府

年齢 45

勤務先名称 清恵会第二医療専門学院



氏名 守安 久尚

都道府県士会 大阪府

年齢 49

勤務先名称 大阪晴愛病院

協会・士会役員歴

平成20年度 神経心理学療法研究部会第5回学術集会 運営委員
 平成21年度～平成26年度 (公社)大阪府理学療法士会 調査資料部 副部長
 平成25年度 第25回大阪府理学療法学会 広報部 部長
 平成25年～ (公社)大阪府理学療法士会 学校保健活動特別委員会 運営委員
 平成27年度～平成28年度 (公社)大阪府理学療法士会 調査資料部 部長
 平成29年度 第29回大阪府理学療法学会 広報渉外局 局長

立候補の趣旨

このたび、日本理学療法士協会代議員に立候補しました趣旨を述べさせていただきます。

私は、『理学療法士のできること』という観点で、高齢者の介護予防や児童・生徒の障害予防に対する取り組みを課題の一つと考え、実際に取り組む機会をいただき活動してきました。

これまでの身体障がいに対する理学療法については、会員の皆様の多大なる研鑽の結果、系統づけられ素晴らしい形になっていると思われまふ。しかしながら、高齢者の介護予防や児童・生徒の障害予防に対する取り組みでは、『理学療法士のできること』に多くの課題を残していると思っております。

このような状況の中、大阪府理学療法士会が取り組んでおります学校保健活動について、地域(一般)の小中学校で子どもたちの運動機能を確認する活動が、いよいよ本格的になりつつあります。この事案に関しては、大阪府理学療法士会が全国のモデルケースとして取り組んできたことであり、この大阪の『理学療法士のできること』を全国へフィードバックし、活動を拡げていく必要のあることと存じております。

大阪府理学療法士会は、日本理学療法士協会会員の10%に迫る会員を擁しており、その声を、全国の理学療法活動を束ねる日本理学療法士協会へ、しっかりと届けたいと思ひ、そのためにも皆様のお力添えを賜り、代議員として尽力したいと考えております。

協会・士会役員歴

平成23・24年(公社)大阪府理学療法士会 泉州ブロック ブロック長
 平成25年～28年 (公社)大阪府理学療法士会 保健福祉局担当理事
 平成29年 (公社)大阪府理学療法士会 保健福祉局長

平成26年～現在 (公社)日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

私は、大阪府理学療法士会で保健福祉局担当理事として4年間、現在は局長として運営に携わらせています。各市町村では、地域包括ケアシステムの構築のため介護予防事業や地域ケア会議等が行われており、我々理学療法士にも参画の機会が多くなって来ています。これらの事業は市町村が主体になり運営されていくため多様性があり、常に新しい事が起こってくる事が考えられるため、協会と各都道府県士会が連携して全国的な動向も考慮していく必要があると考えます。そして、協会として地域包括ケアにかかわる理学療法士の教育も充実させていただくことも大切であると考えます。そのためには大阪の意見を協会に届けなければならないと思ひ今回立候補させていただきました。



氏名 羽田 晋也

都道府県士会 大阪府

年齢 45

勤務先名称 星ヶ丘医療センター



氏名 米谷 元希

都道府県士会 大阪府

年齢 43

勤務先名称 (株)米谷暮らし研究所

協会・士会役員歴

平成22年度～現在 (公社)日本理学療法士協会 代議員
平成23年度～現在 (公社)大阪府理学療法士会 理事(社会局)

協会・士会役員歴

平成25年～ 大阪府理学療法士会高齢者保健福祉部長
平成20年～ 大阪府理学療法士会泉州ブロック保健福祉部長

立候補の趣旨

現行の医療・介護保険制度では、急性期・回復期・生活期という機能分化型のリハビリテーションが確立しており、各時期の連携を深め、継ぎ目のない理学療法の実現が望まれていることは周知のとおりです。都道府県理学療法士会においては、地域包括ケアシステムに対応できる組織力強化が急務となっております。

平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定では、回復期リハビリテーション病棟入院料において実績指数に応じた評価を推進することが示されています。理学療法の質の向上のためには、人材育成が重要となります。また、介護保険の施設・事業所においては、医療機関等の理学療法士と連携することを評価する方向性が示されており、施設間連携を基に職能団体として市区町村の担当部署と協議できる組織力が必要となります。

府士会では、組織力の強化・市区町村との連携強化・地域包括ケアシステムへの対応に向けて組織改編を進めています。これらを実現するためには、協会指定管理者の育成とネットワークづくりが急務であります。我われ理学療法士が保健・医療・福祉および国民の健康に寄与するためには、理学療法(士)の啓発・管理者ネットワークの構築・理学療法の「質」の向上が必要となります。

協会・府士会・市区町村を繋げるパイプ役となり、これらを実現に努め、職能団体として国民へ貢献することを目標に立候補します。

皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

理学療法士として「できること」「やるべきこと」そして「やりたいこと」がここにあります。もっともっと地域の中で活躍できる理学療法士が潜在しているその可能性を十分に開花させていないものを見つけ形を与えていきたいと考えています。これからの理学療法士の可能性に尽力したいと考えております。



氏名 松岡 雅一

都道府県士会 大阪府

年齢 40

勤務先名称 (株)リハステージ

協会・士会役員歴

平成19年から20年度 社団法人 大阪府理学療法士会 事務局 組織部 副部長
 平成21年から24年度 社団法人 大阪府理学療法士会 事務局 組織部 部長
 平成25年から26年度 公益社団法人 大阪府理学療法士会 保健福祉局 保健福祉
 相談部 部長
 平成26年から27年度 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
 平成27年から現在 公益社団法人 大阪府理学療法士会 ブロック局担当理事
 平成25年から現在 公益社団法人 大阪府理学療法士会 災害時支援対策特別委員会
 委員 (現委員長)

立候補の趣旨

人口構造の変化に伴って医療・介護・福祉を始めとした社会情勢も変化し続けていく中で、理学療法士の必要性を認知していただき、職域を確保していくためには各地域の理学療法士が専門性を活かして地域の保健医療、介護予防や健康増進分野で社会貢献し続ける必要があると考えます。そのためには、公益社団法人日本理学療法士協会（以下、協会）や都道府県士会の公益的な活動が重要であり、そのような活動に寄与したく、協会代議員に立候補いたします。

各地域における協会、各都道府県士会の会員の先生方に協会、所属士会のビジョンや活動指針を認知いただき、実施事業へ積極的に関わっていただけるように働きかけていきたいと思っています。理学療法士が関わる対象者の皆様、会員の皆様、協会、都道府県士会のお役に立てるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



氏名 山根 章

都道府県士会 大阪府

年齢 52

勤務先名称 大阪府済生会吹田病院

協会・士会役員歴

2016年～ 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
 2009年～ 公益社団法人 大阪府理学療法士会 豊能ブロック長
 2005年～ 公益社団法人 日本理学療法士協会 全国学術大会 査読委員

立候補の趣旨

私の所属する大阪府士会は昨年末で会員数7600名を超え、全国有数の会員数の多い士会です。

府士会は9つのブロックに分かれており、私は現在、毎年70名前後の新入会員を迎えながら総勢約860名のブロック会員の方々に支えられながら、4市2町からなる豊能ブロック長を約9年間務めさせていただいております。

前回、ブロックはじめ周囲の会員の方々の心強い後押しをいただき、初めて代議員として日本理学療法士協会の定期代議員総会に参加する機会を得ました。そして協会の多岐にわたる事業や課題を見聞きする機会を得て、適宜ブロック活動時などに身近なブロック会員に伝えることもできました。

代議員総会の場でも学生時代から入職後の恩師の方々にもお会いする機会を得て「これからは全国士会でも頑張りや」と温かい指導と激励の言葉をいただきました。支えていただいている周囲の方々のためにも、引き続き代議員としてブロックの各種活動で得た経験を活かして、微力ですが頑張りたいと思います。



氏名 鹿山 英明

都道府県士会 大阪府

年齢 49

勤務先名称 大野記念病院

協会・士会役員歴

協会役員歴
 平成25年～26年度 (公社)日本理学療法士協会 選挙管理委員会 委員

士会役員歴
 平成20年～25年度 (公社)大阪府理学療法士会大阪市南ブロック学術部 部長
 平成21年～26年度 (公社)大阪府理学療法士会 選挙管理委員会 委員長
 平成27年～28年度 (公社)大阪府理学療法士会 社会局担当理事
 平成29年度～現在に至る (公社)大阪府理学療法士会 保健福祉局担当理事

立候補の趣旨

この度、協会代議員に立候補致します鹿山英明と申します。私は平成27年より大阪府理学療法士会理事を拝命し、社会局担当理事として行政・他団体との関係づくりに携わらせていただき、現在は保健福祉局担当理事として地域包括ケアシステムに理学療法士が参画できるように大阪府や大阪市、他の市町村と協力して活動して参りました。地域包括ケアシステムは地域住民が安心して暮らしていくための重要な喫緊の課題で、理学療法士への期待も高まっています。これらに我々が応えていくことは、我々の後進への職域拡大の可能性を広げる上で重要です。そしてこの活動をさらに推し進めるために協会の活動へ大阪府理学療法士会から提言するとともに府士会員の声を協会へ届けるべく努力していきたいと考えております。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



氏名 松田 洋平

都道府県士会 大阪府

年齢 39

勤務先名称 葛城病院

協会・士会役員歴

2013年～2016年度 (公社)大阪府理学療法士会 高齢者保健福祉部副部長
 2015年 第27回大阪府理学療法学会 事務局長
 2016年 第28回大阪府理学療法学会 事務局長
 2017年～ (公社)大阪府理学療法士会 保健福祉局担当理事

立候補の趣旨

2013年より(公社)大阪府理学療法士会高齢者保健福祉部副部長として介護予防・地域包括ケア推進リーダー研修等の活動に携わって参りました。これから2025年までの7年間は、行政や他職種との連携を強化し、医療・介護・福祉において理学療法士が社会に貢献できることをより周囲に示していく事が重要であると考えます。介護予防事業や地域ケア会議への積極的な参入を進めていくためには、会員相互・地域での連携、個々のレベルアップが必須となって参ります。連携とレベルアップのための環境整備を図り、信頼される理学療法士会を実現するために、微力ながら代議員として活動に尽力できればと思いい立候補致しました。日々、臨床で汗をかいている感覚を大切に、皆様からのご指導をいただきながら頑張る所存ですので、よろしくお願い致します。



氏名 尾谷 寛隆

都道府県士会 大阪府

年齢 50

勤務先名称 国立循環器病研究センター



氏名 中村 昌司

都道府県士会 大阪府

年齢 50

勤務先名称 葛城病院

協会・士会役員歴

協会役員歴
平成22～29年度 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

士会役員歴
平成17～24年度 社団法人大阪府理学療法士会 理事
平成25～28年度 公益社団法人大阪府理学療法士会 理事

協会・士会役員歴

協会役員歴
平成26年～ (公社) 日本理学療法士協会代議員

士会役員歴
平成23年～平成24年 (社) 大阪府理学療法士会 事務局担当理事
平成25年～平成28年 (公社) 大阪府理学療法士会 保健福祉局長
平成29年～ (公社) 大阪府理学療法士会 副会長

立候補の趣旨

理学療法士の職域を確保しさらには拡大させること、医療や介護現場で求められている理学療法士を確保するという事案は、協会にとっての継続的課題であると思います。これらの課題を達成するためには、理学療法士によって構成された職能団体である日本理学療法士協会が主導となり解決していく必要があります。代議員としては、大阪府理学療法士会からの選出である意識を大前提に、協会の事業運営を把握しそれを1人でも多くの会員に伝えることが大きな使命でもあります。これらを援助させて頂きたく代議員に立候補いたします。

立候補の趣旨

私は、府士会事務局担当理事として2年、保健福祉局長として4年間、平成29年より副会長として、府士会の運営に従事して参りました。その中で日々感じることは、我々理学療法士にとって更なる質の向上と職域の堅持と拡大が喫緊の課題であるということです。医療保険・介護保険改定において、アウトカム評価が拡大される中、学生の教育も含めしっかりと結果を残せる人材育成に力を注がなければならないと考えています。また、2025年を目前に控え、全国の各市区町村で地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが本格化する中、理学療法士が地域における介護予防の取組の強化に貢献することで、職域の拡大を実現せねばなりません。この度、府士会の代表として皆様の意見を協会に届けたいと思い、立候補させていただきました。皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。



氏名 大槻 哲也

都道府県士会 大阪府

年齢 37

勤務先名称 大阪医療福祉専門学校



氏名 西川 篤史

都道府県士会 大阪府

年齢 36

勤務先名称 医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院

協会・士会役員歴

平成27年7月 (2年間) (公社)大阪府理学療法士会 学会部 部長
 平成28年6月 (2年間) (公社)日本理学療法士協会 代議員
 平成29年7月 (~現在) (公社)大阪府理学療法士会 新人教育部 部長
 平成29年7月 第29回大阪府理学療法士学術大会 企業展示部 部長

立候補の趣旨

理学療法士養成校の現状として、学力および倫理観・社会人基礎力などの質の担保が課題となっています。また、高齢化に伴う医療需要の増大や、地域包括ケアシステムの構築など理学療法士を取巻く環境は変化しています。

これらを背景にして、平成32年に指定規則が改定され、新カリキュラムが展開されることにより、理学療法士の技術や知識、そしてモラルなどの質の向上を図ろうとしています。改定には履修科目の追加や臨床実習時間の増加などが挙げられていますが、卒業前教育の具体的な評価基準等については統一化されておられません。

したがって、協会には質の高い、時代のニーズに沿った理学療法士を養成するために、養成校における教育の現状や改善策等を協会へ伝えていきたいと思っています。

以上、宜しくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴

101事業(介護技術講習会) 北河内ブロック代表 2014年～
 北河内ブロック 保健福祉局長 2017年～

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきました、医療法人徳洲会野崎徳洲会病院の西川篤史と申します。

急性期病院の所属ではありますが、関連施設に於いて訪問・通所系サービスにも携わった経験もあります。士会事業の介護技術講習会には、10年間関わっており、看護師、介護士、一般市民の方に対して理学療法士としての介護技術を伝える役割を担わせていただいております。

今年度より、介護技術講習会と市民公開講座担当の統括となる社会福祉局長を拝命し、市民の方々に理学療法士の役割を伝える活動に、微力ながら協力させていただいております。

今後の地域包括ケアシステムの構築のためにも、急性期や在宅における現場の声を集約し協会に伝えていく事、協会からの動きを会員の皆様へ伝える事に尽力したいと考えております。

宜しくお願い致します。